

AWS 上の Cisco ISE インスタンスのインストール後のタスク

インストール後の注意事項とタスク

インスタンス起動のステータスを確認するには、AWS コンソールの左ペインで [インスタンス (Instances)] をクリックします。インスタンスの [ステータスのチェック (Status Check)] カラムには、インスタンスの設定中に [初期化中 (Initializing)] が表示されます。インスタンスの準備が整い、使用可能になると、カラムに [xチェック完了 (x checks done)] が表示されます。

Cisco ISE GUI または CLI には、Cisco ISE EC2 インスタンスが構築されてから約 30 分後にアクセスできます。AWS からインスタンスに提供される IP アドレスを使用して Cisco ISE の CLI と GUI にアクセスし、Cisco ISE 管理ポータルまたはコンソールにログインできます。

Cisco ISE インスタンスの準備が整い、使用可能になったら、次の手順を実行します。

1. AWS でキーペアを作成すると、キーペアをローカルシステムにダウンロードするように求められます。キーペアをダウンロードするのは、それに SSH ターミナルから Cisco ISE インスタンスへの正常なログインのために更新する必要がある、特定の権限が含まれているからです。

使用しているオペレーティングシステムに基づいて、次のいずれかを実行します。

表 1: OS に基づくアクション

使用しているオペレーティングシステム	次の操作
Linux または macOS	CLI から次のコマンドを実行します。 <code>sudo chmod 0400 mykeypair.pem</code>

使用しているオペレーティングシステム	次の操作
Windows	- ローカルシステムのキーファイルを右クリックします。 [プロパティ (Properties)] > [セキュリティ (Security)] > [詳細設定 (Advanced)] の順に選択します。 [権限 (Permissions)] タブで、対応するオプションをクリックして適切なユーザーにフルコントロールを割り当て、[継承の無効化 (Disable Inheritance)] をクリックします。 [継承のブロック (Block Inheritance)] ダイアログボックスで、[継承された権限をこのオブジェクトの明示的な権限に変換する (Convert inherited permissions into explicit permissions on this object)] を選択します。 [権限 (Permissions)] タブの [権限エントリ (Permissions entries)] エリアで、対応するエントリをクリックしてシステムユーザーと管理者ユーザーを選択し、[削除 (Remove)] をクリックします。 [適用 (Apply)] をクリックして、[OK] をクリックします。

- CLI アプリケーションで次のコマンドを実行して、Cisco ISE CLI にアクセスします。
`ssh -i mykeypair.pem iseadmin@<Cisco ISE Private IP Address>`
- ログインプロンプトで、ユーザー名として **iseadmin** と入力します。
- システム プロンプトで、**show application version ise** と入力し、Enter を押します。
- Cisco ISE プロセスの状態を調べるには、**show application status ise** と入力し、Enter を押します。
アプリケーションサーバーが実行状態にあると出力に表示される場合は、Cisco ISE は使用可能です。
- その後、Cisco ISE GUI にログインできます。
- ご使用のリリースの『[Cisco ISE Installation Guide](#)』にある「Installation Verification and Postinstallation Tasks」の章の「List of Postinstallation Tasks」に記載されているインストール後のタスクを実行します。

インスタンス起動のステータスの確認

インスタンス起動のステータスを確認するには、AWS コンソールの左ペインで [インスタンス (Instances)] をクリックします。インスタンスの [ステータスのチェック (Status Check)] カラムには、インスタンスの設定中に [初期化中 (Initializing)] が表示されます。インスタンスの準備が整い、使用可能になると、カラムに [xチェック完了 (x checks done)] が表示されます。

Cisco ISE GUI または CLI にアクセスする方法とタイミング

Cisco ISE GUI または CLI には、Cisco ISE EC2 インスタンスが構築されてから約 30 分後にアクセスできます。AWS からインスタンスに提供される IP アドレスを使用して Cisco ISE の CLI と GUI にアクセスし、Cisco ISE 管理ポータルまたはコンソールにログインできます。

キーペアのダウンロード

Cisco ISE インスタンスの準備が整い、使用可能になったら、次の手順を実行してキーペアをダウンロードします。

1. AWS でキーペアを作成すると、キーペアをローカルシステムにダウンロードするように求められます。

キーペアをダウンロードするのは、それに SSH ターミナルから Cisco ISE インスタンスへの正常なログインのために更新する必要がある、特定の権限が含まれているからです。

2. 使用しているオペレーティングシステムに基づいて、次のいずれかを実行します。

表 2: ご使用の OS に基づいて実行するアクション

使用しているオペレーティングシステム	次の操作
Linux または macOS	CLI から次のコマンドを実行します。 <code>sudo chmod 0400 mykeypair.pem</code>
Windows	1. ローカルシステムのキーファイルを右クリックします。 2. [プロパティ (Properties)] > [セキュリティ (Security)] > [詳細設定 (Advanced)] の順に選択します。 3. [権限 (Permissions)] タブで、対応するオプションをクリックして適切なユーザーにフルコントロールを割り当て、[継承の無効化 (Disable Inheritance)] をクリックします。 4. [継承のブロック (Block Inheritance)] ダイアログボックスで、[継承された権限をこのオブジェクトの明示的な権限に変換する (Convert inherited permissions into explicit permissions on this object)] を選択します。 5. [権限 (Permissions)] タブの [権限エントリ (Permissions entries)] エリアで、対応するエントリをクリックしてシステムユーザーと管理者ユーザーを選択し、[削除 (Remove)] をクリックします。 6. [適用 (Apply)] をクリックして、[OK] をクリックします。

Cisco ISE プロセスのステータスの確認

Cisco ISE プロセスのステータスを確認するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 CLI アプリケーションで次のコマンドを実行して、Cisco ISE CLI にアクセスします。

```
ssh -i mykeypair.pem iseadmin@<Cisco ISE Private IP Address>
```

ステップ 2 ログインプロンプトで、ユーザー名として **iseadmin** と入力します。

ステップ 3 システム プロンプトで、**show application version ise** と入力し、Enter を押します。

ステップ 4 Cisco ISE プロセスの状態を調べるには、**show application status ise** と入力し、Enter を押します。

アプリケーションサーバーが実行状態にあると出力に表示される場合は、Cisco ISE は使用可能です。

What's next

Cisco ISE GUI にログインし、『[Cisco ISE Installation Guide](#)』にある「Installation Verification and Post-Installation Tasks」の章の「List of Post-Installation Tasks」に記載されているインストール後のタスクを実行します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。